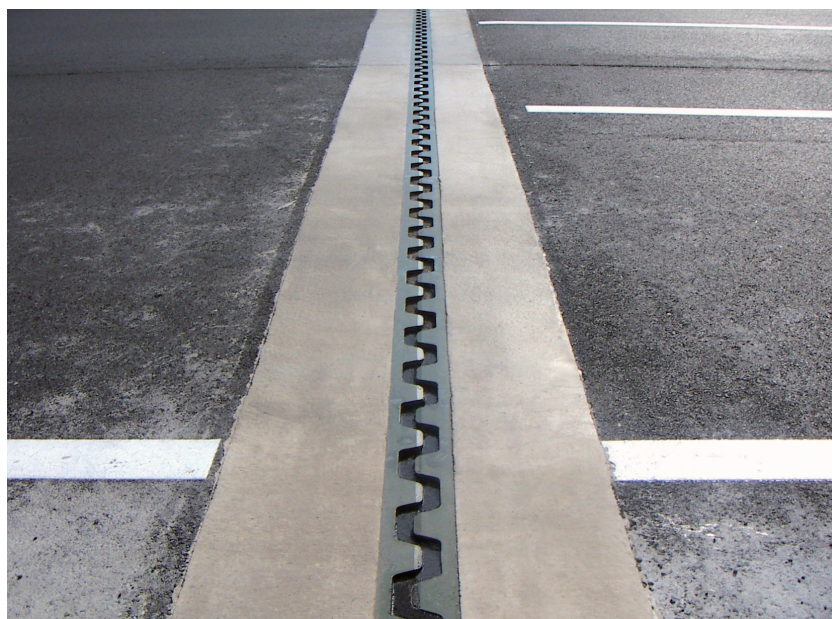




施工後30年を超える耐久性を実証
荷重支持型鋼製伸縮装置

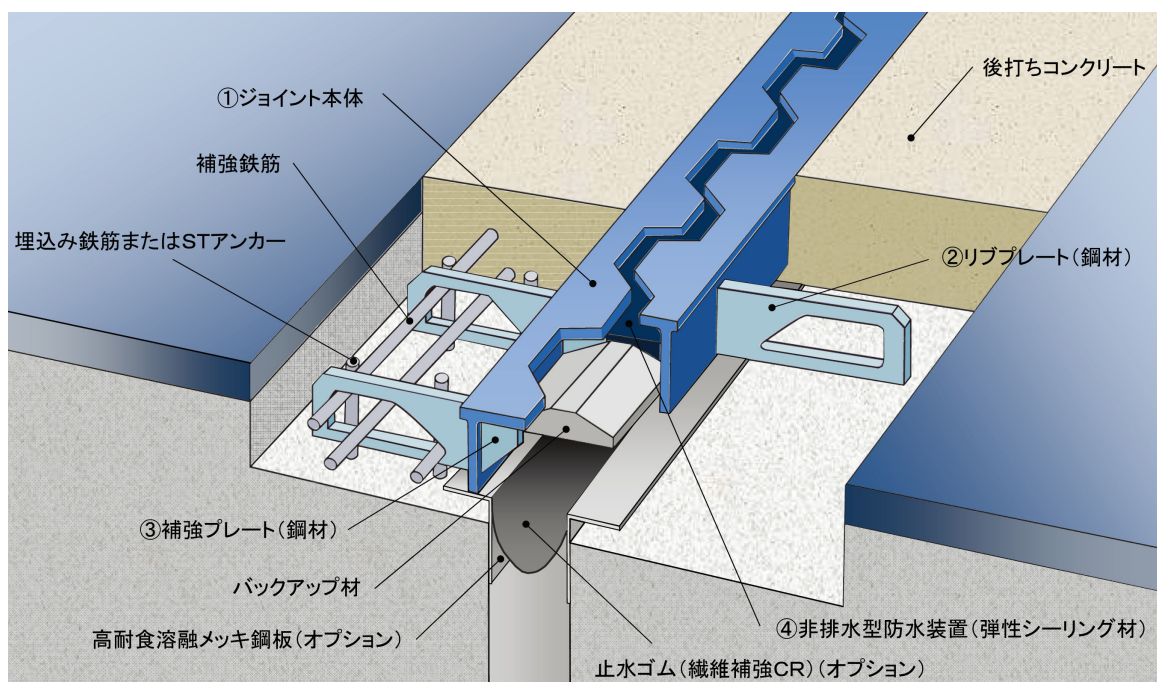
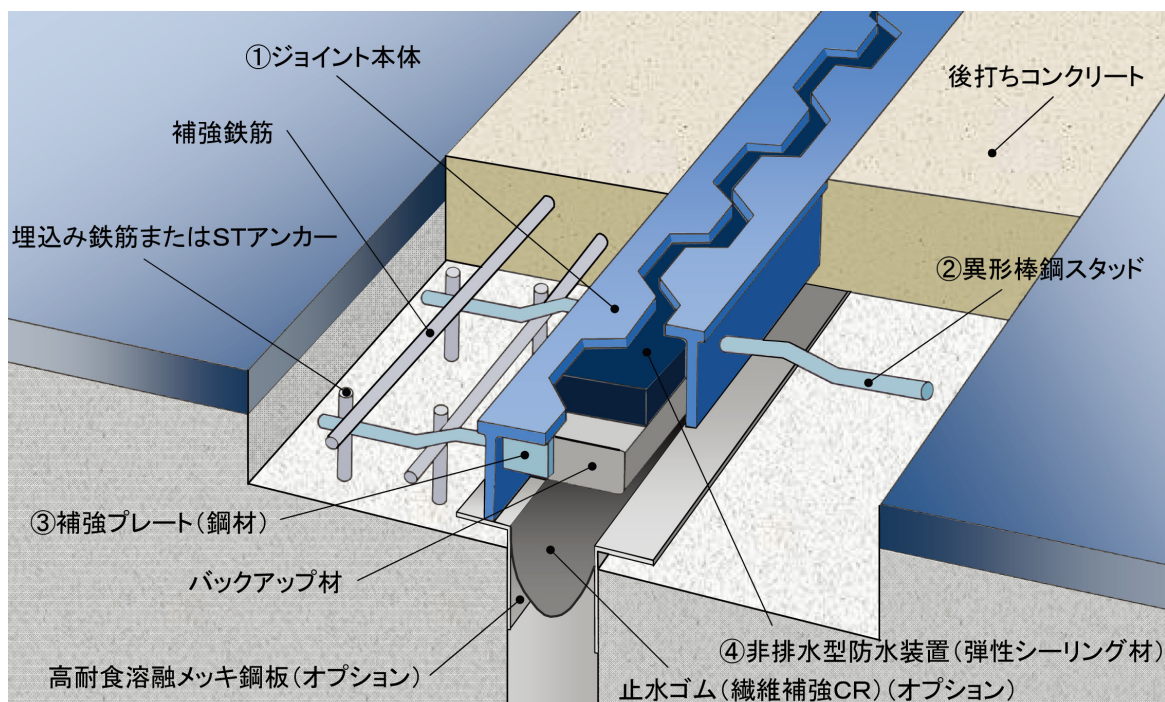
SHO-BOND STジョイント

ST-JOINT



▶特長

- ❶ シンプルな構造で床版と一体化し、優れた耐久性を実現しました。
- ❷ 伸縮量が20mmから120mmまで、8段階の品揃えで小径間から大径間の橋長に対応可能です。
- ❸ 工場生産による安定した品質を確保しています。

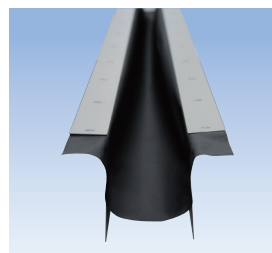


■適用範囲

形式	フィンガー遊間 D (mm)		適用床版 最大遊間 d (mm)	伸縮量 (mm)	重量 (kg/1.8m)	床版との 定着方法
	最大 Dmax	最小 Dmin				
ST-20N	25	5	55	20	54.2 (普通型)	異形棒鋼 スタッド
ST-30N	40	10	95	30	62.8 (普通型)	
ST-40N	50	10	115	40	65.4 (普通型)	
ST-50N	60	10	135	50	72.4 (普通型)	
ST-60N	75	15	175	60	123.5 (普通型)	リブプレート
ST-80N	95	15	225	80	156.5 (普通型)	
ST-100	105	5	235	100	194.4 (重量型)	
ST-120	125	5	275	120	199.8 (重量型)	
ST-80G	95	15	225	80	158.4 (普通型)	リブプレート (誘導板)
ST-100G	105	5	235	100	178.0 (普通型)	
ST-120G	125	5	275	120	184.6 (重量型)	

■クローザー(二重止水材)

伸縮装置本体の止水材が損傷した場合でも、伸縮装置の下部に設置したクローザーのゴムシート(繊維補強)が排水し、主桁端部や支承への水かかりを防止する装置です。



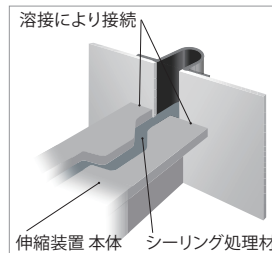
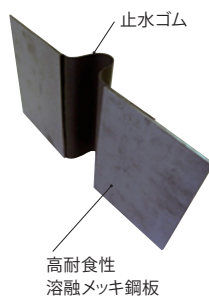
▲クローザー本体



▲設置状況

■サイドクローザー(地覆端部材)

サイドクローザーを伸縮装置端部に接続し、遊間部のシーリング処理を行うことで、地覆や壁高欄部との接合部(継手部)における止水性能を確保することができます。



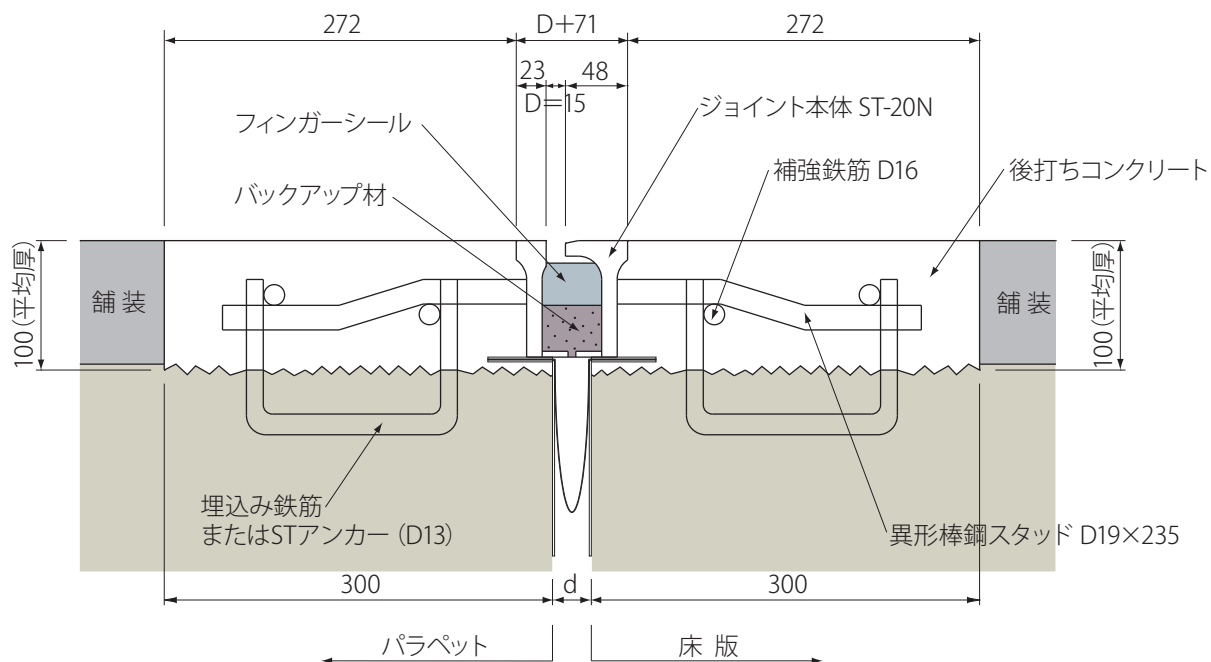
▲サイドクローザー本体



▲設置状況

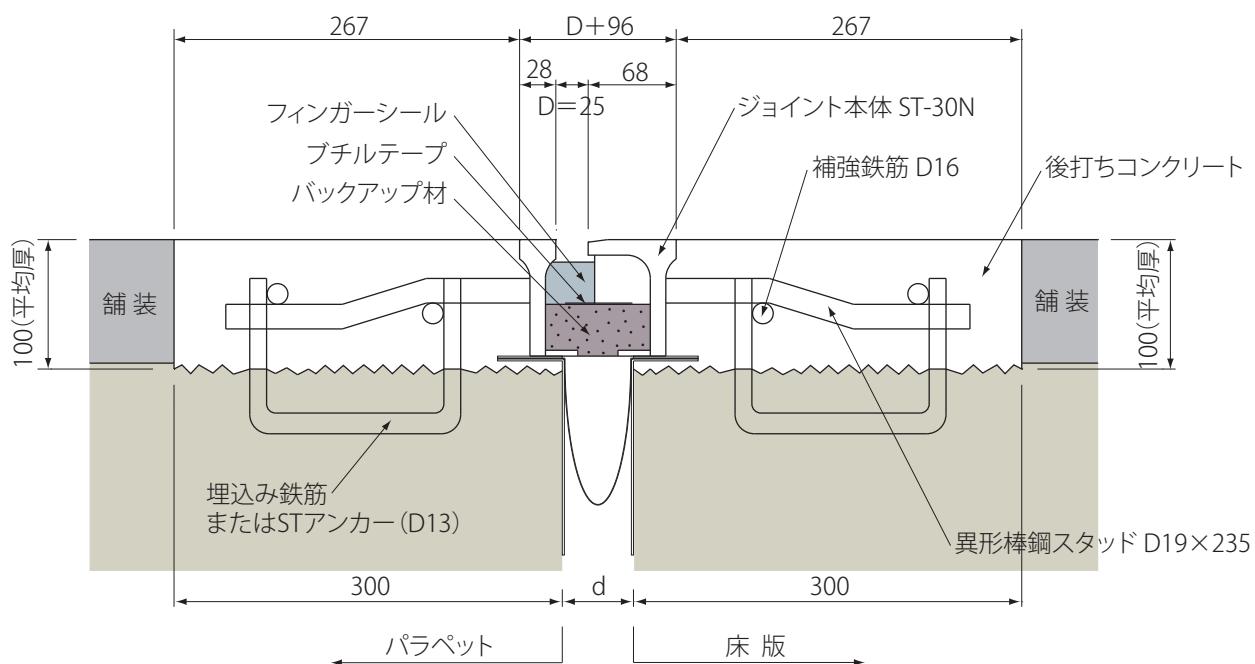
ST-20N ジョイント

【断面図】



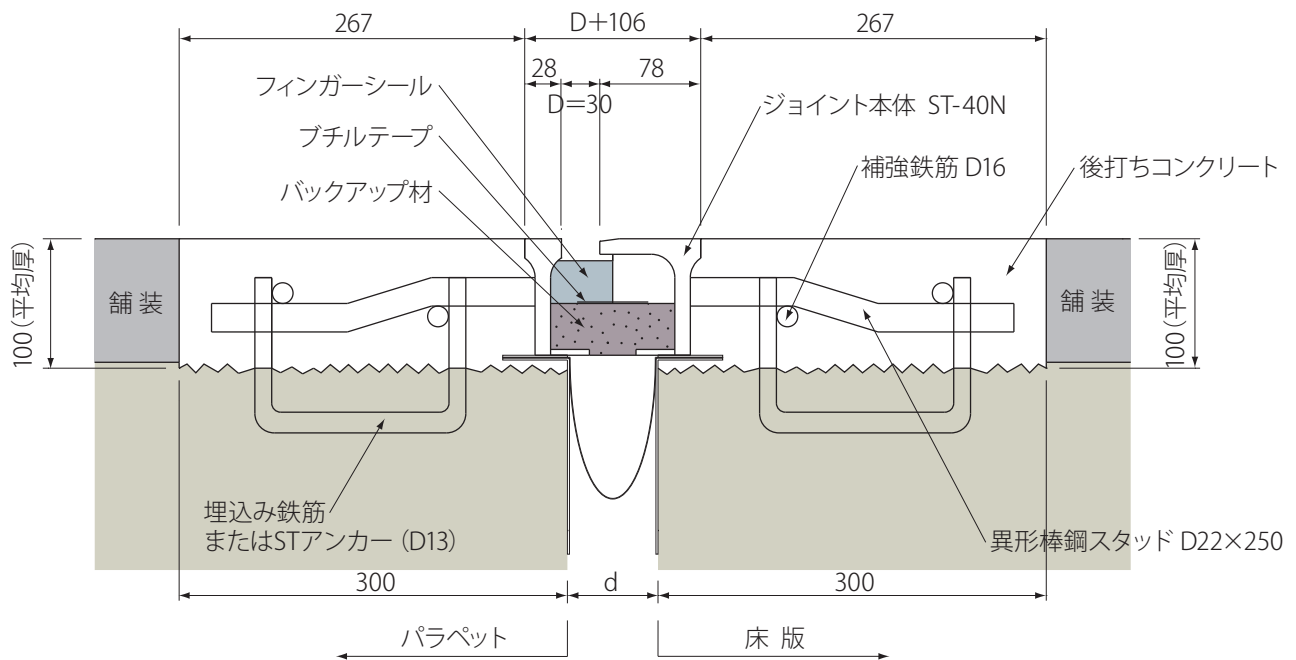
ST-30N ジョイント

【断面図】



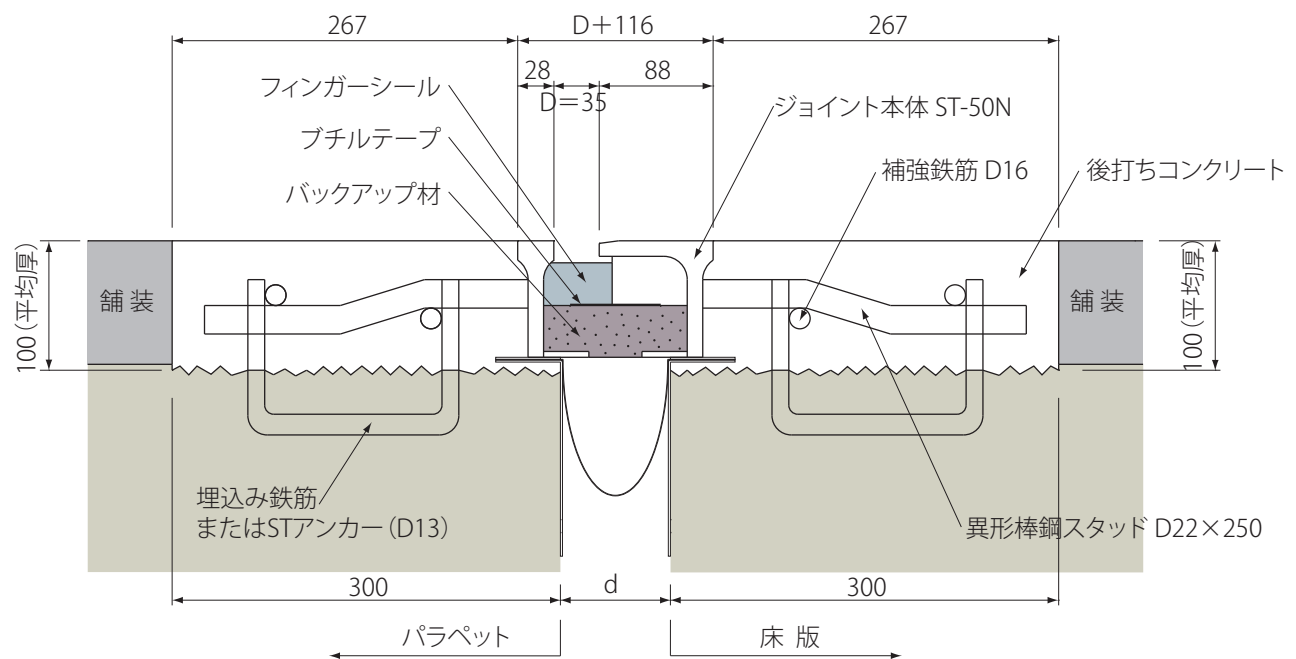
ST-40N ジョイント

【断面図】



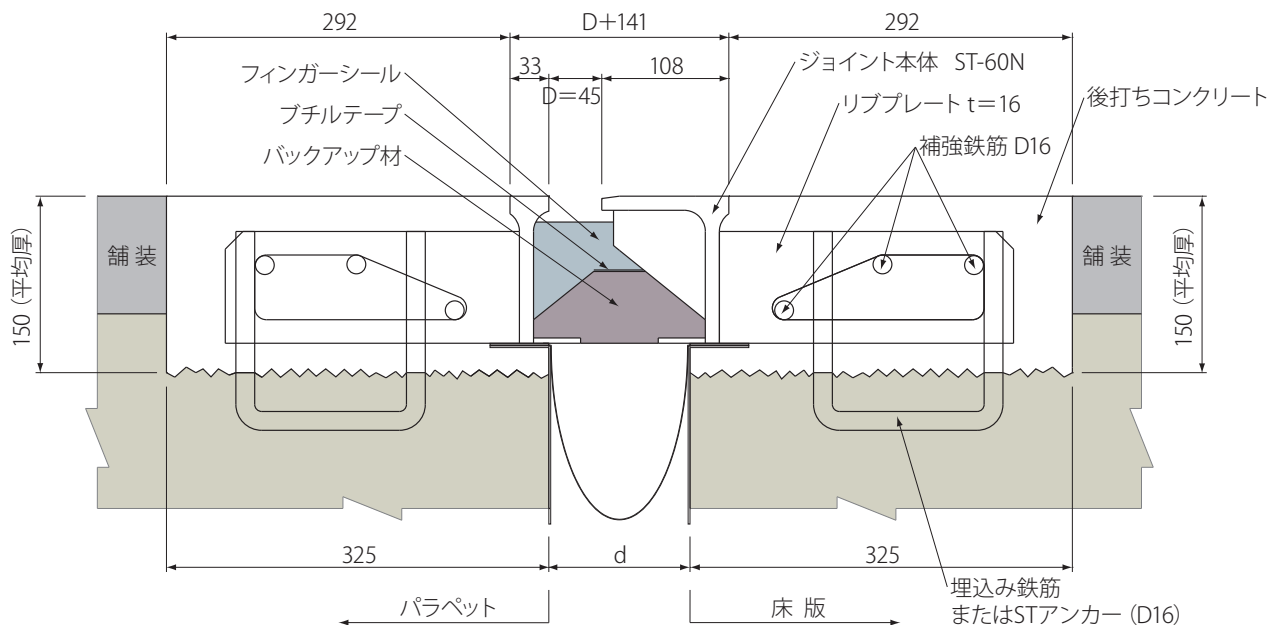
ST-50N ジョイント

【断面図】



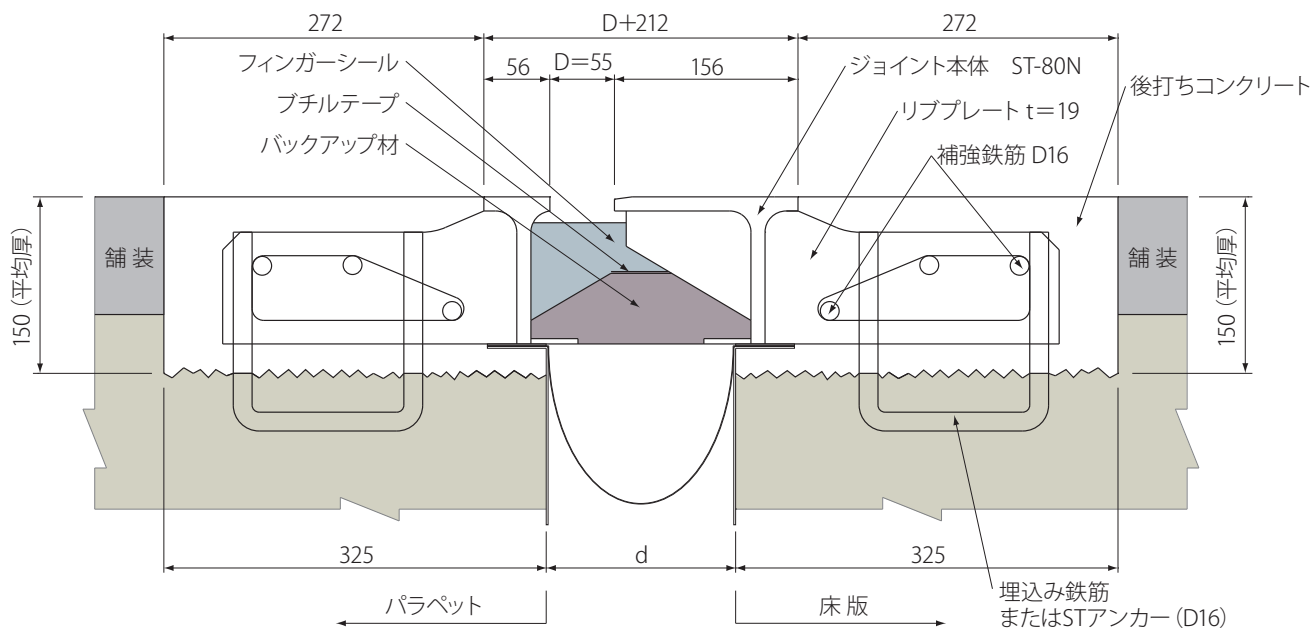
ST-60N ジョイント

【断面図】



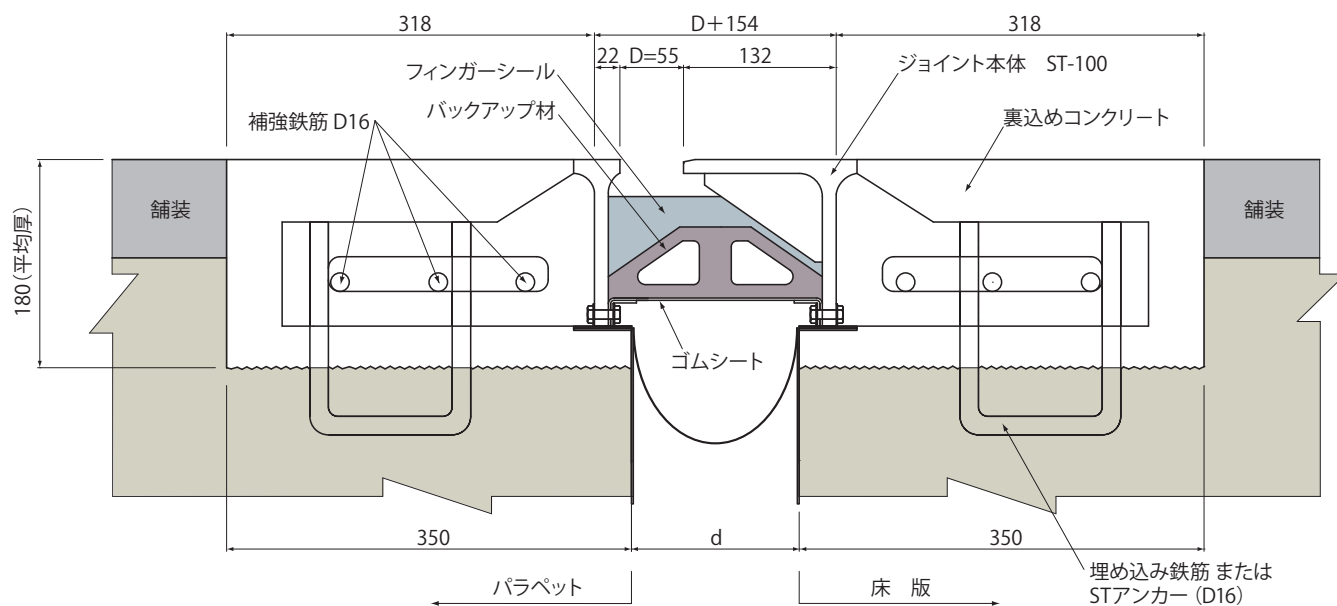
ST-80N ジョイント

【断面図】



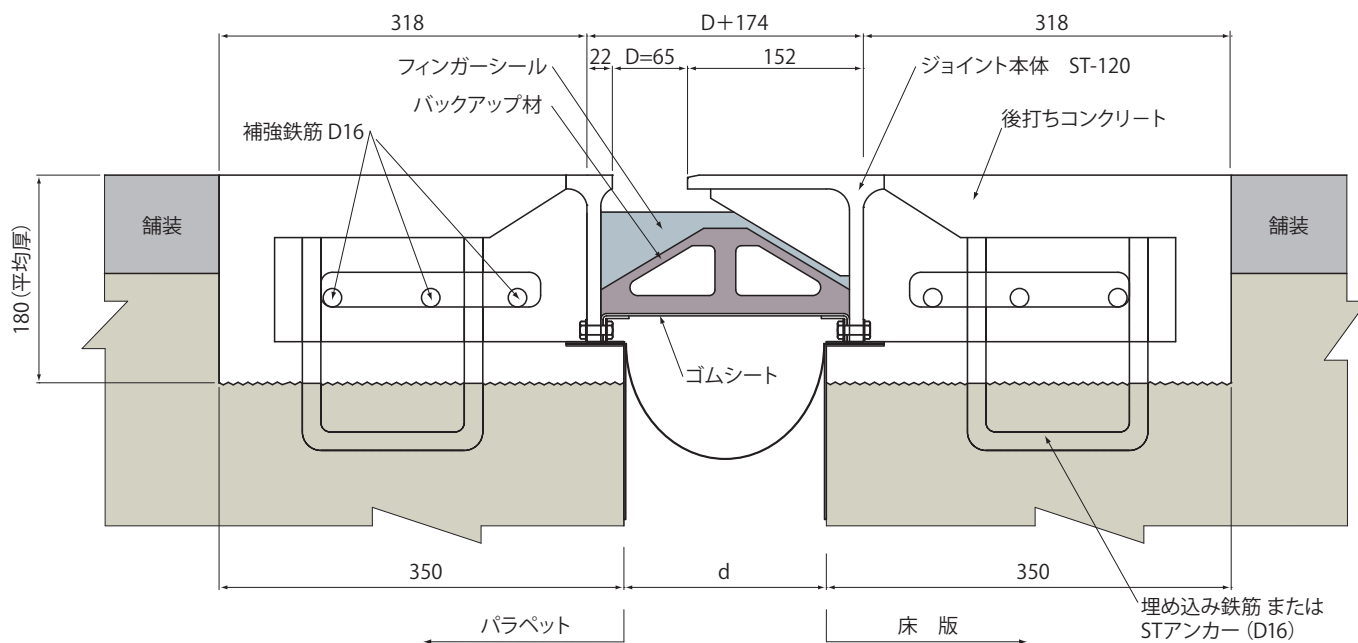
ST-100 ジョイント

【断面図】



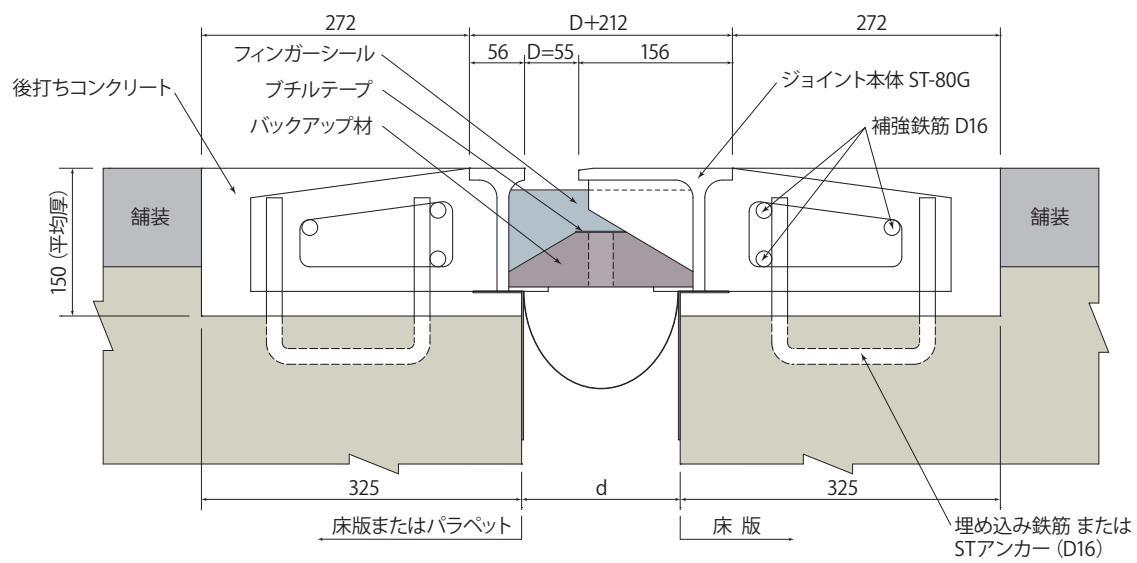
ST-120 ジョイント

【断面図】



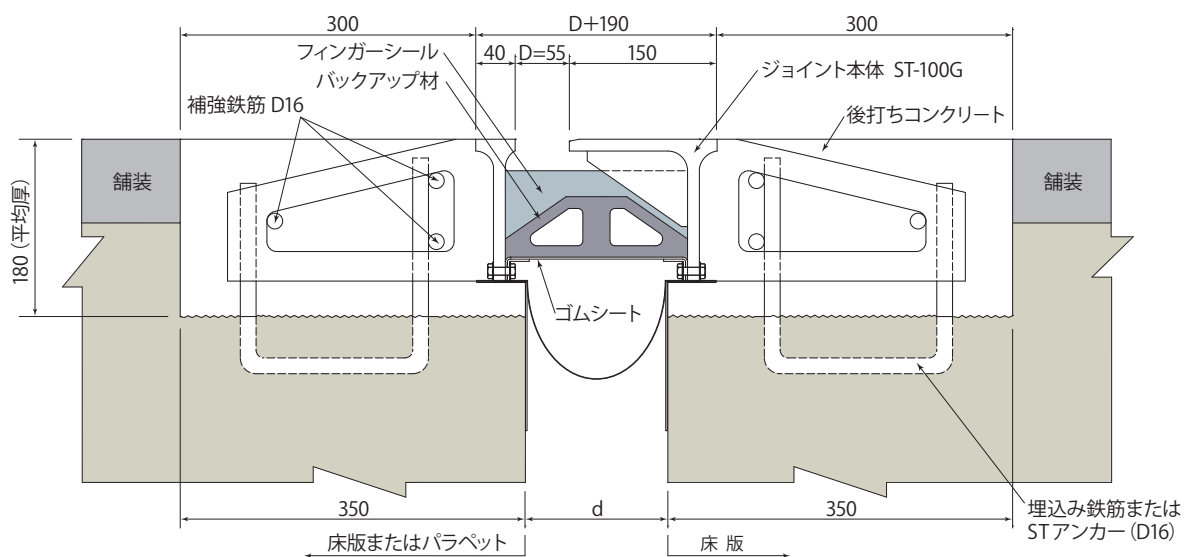
ST-80G ジョイント

【断面図】



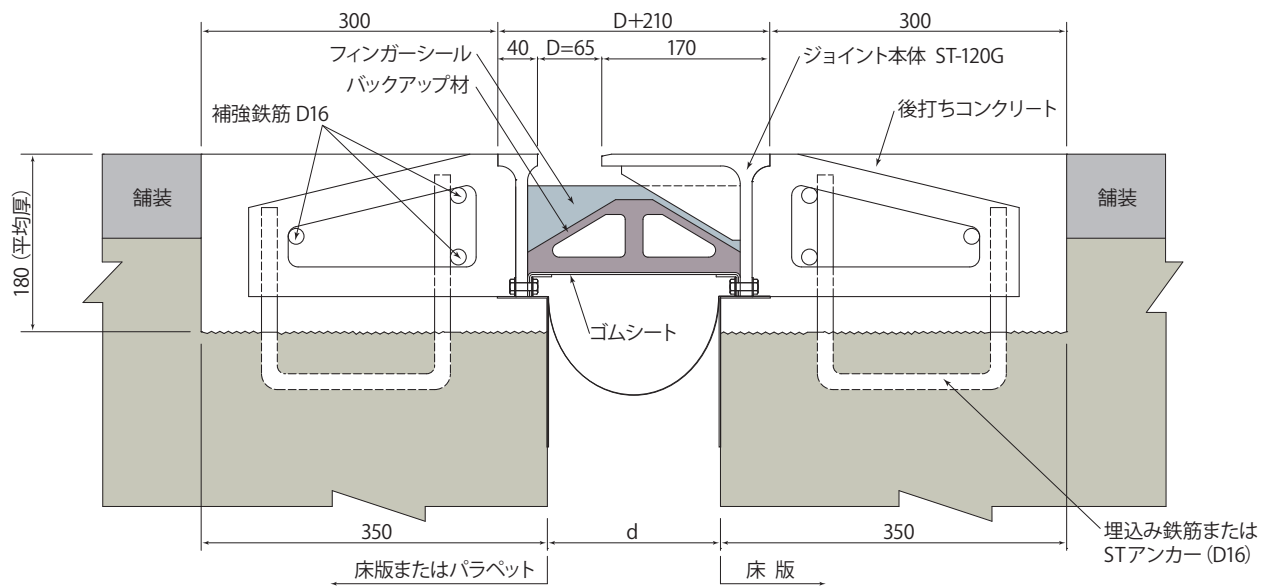
ST-100G ジョイント

【断面図】



ST-120G ジョイント

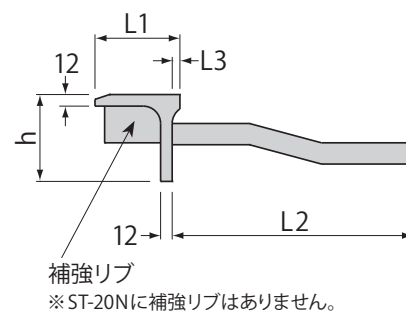
【断面図】



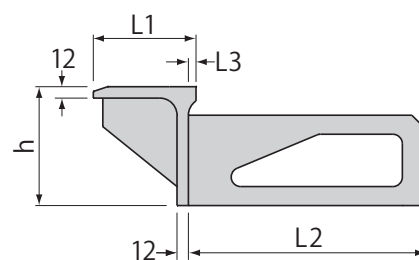
■標準断面詳細図・寸法表

形式	L1	L2	L3	h	床版との定着方法
ST-20N	48	235	8	90	異形棒鋼スタッド
ST-30N	68	235	8	90	
ST-40N	78	250	8	90	
ST-50N	88	250	8	90	
ST-60N	108	250	8	125	リブプレート
ST-80N	156	250	28	125	
ST-100	150	270	18	146	
ST-120	170	270	18	146	
ST-80G	156	250	28	125	リブプレート (誘導板)
ST-100G	150	270	18	146	
ST-120G	170	270	18	146	

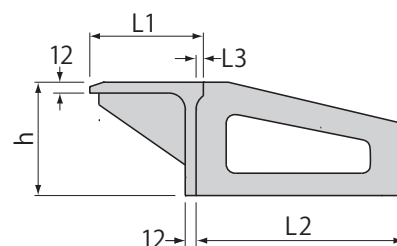
ST-20N～50N



ST-60N～120



ST-80G～120G



重交通路線において、施工後30年超供用され続け、 高い耐久性が実証されました。

■ 国道1号に架かる橋梁【24時間交通量：約41,000台】(平成22年度道路交通センサスより)



▲1983年(昭和58年)施工



▲2013年(平成25年)時点、30年越経過



◀2013年(平成25年)時点
1992年(平成4年)施工後、21年経過。

環状7号(東京)に架かる橋梁
【24時間交通量：約60,000台】

疲労載荷試験結果

STジョイントは設計荷重200kN(100kN+衝撃荷重)にて360万回の静的疲労試験をクリアしています。国道1号の日交通量約41,000台、大型車交通量約4,500台の通行量の場合、鋼道路橋の疲労設計指針(H14 日本道路協会)より試算すると、約70年の設計供用期間となります。

$$Y = n_{ti} / (ADTTsLi \times \gamma_n \times 365)$$

Y : 設計で考慮する期間(年)

n_{ti} : 疲労設計荷重の載荷回数

ADTTsLi : 一方向一車線あたりの日大型車交通量

γ_n : 頻度補正係数(0.03)



▲載荷試験状況

■製造・販売

ショーボンドマテリアル株式会社

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台 2-8-10 TEL.049 (225)5611 (代表)

<https://www.sb-material.co.jp>

■販売

ショーボンド建設株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 7-8 TEL. 03(6861)8101 (代表)

<http://www.sho-bond.co.jp>

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

●取扱店